



**日** 本遺産として4月24日に認定された能登のキリコ祭り。その先陣を切って、県の無形民俗文化財に指定されている「あばれ祭」が、7月3、4日に開催されました。初日は、宇出津港いやさか広場で、約40基のキリコが大松明の周囲を乱舞。火の粉を浴びながら勇壮に巡りました。能登に住む人の祭りに対する思いは特別です。多くの若者が帰省して、祭りに華を添えました。

翌日は酒垂神社、白山神社の氏子が担ぐ、2基のあばれ神輿が登場。若衆は八坂神社の神様を喜ばせようと、海や川、松明の火の中に神輿を投げ込み、荒々しく街中を進みます。神輿の運行は真剣勝負です。未明に八坂神社に到着すると、男たちはようやく安堵の表情を浮かべました。

日本遺産

「あばれ」  
「灯り舞う半島能登」  
「熱狂のキリコ祭り」

あばれ祭り

# 頂点目指して突き進む 能登高校のアスリートたち

能登高校ソフトテニス部・アーチェリー部が全国高等学校総合体育大会に出場します。全国制覇に向けて最終調整に励む選手たちに、大会への意気込みを聞きました。

## ソフトテニス

地元の熱い応援に  
感謝の気持ち込めて挑みます

能登高校男子ソフトテニス部は、6月20・21日に能都健民テニスコートで開催された北信越高校体育大会で3年ぶり2度目の団体優勝を果たしました。ソフトテニス愛好者の多い地元能登町。大会には多くの地域住民が応援に駆けつけ、熱い声援を受けた選手たちは見事に期待に応え、奈良県橿原公苑明日香庭球場で開かれるインターハイの切符を手に入れました。

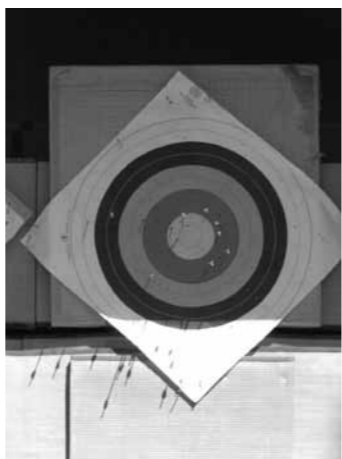
因・米澤ペアは、6月に札幌市で行われた「ハイスクールジャパンカップソフトテニス」でも、全国3位の好成績を残しています。インターハイに向けて、日一日と勝利への気持ちが高まる選手たち。高宮選手は「地道に一本一本、みんなに感謝の気持ちを込めてプレーしたい」と話しました。



「能登高ファイト！」と笑顔でガッツポーズを見せる選手たち。試合前はこの「儀式」でチームの団結を確認しています。



因 京将さん、米澤 要さん (3年生) 山本貴大さん、高宮 真さん (3年生) 奥野立樹さん、米澤 優さん (1年生) 松岡樹輝さん、東 大成さん (2年生)



## アーチェリー インターハイの大舞台で 優勝を射止めるぞ！

能登高校アーチェリー部は、6月5・6日に行われた県高等学校総合体育大会で、男子が団体優勝、個人で谷

内桜花選手が優勝、屋鋪真吾選手が2位、尾形結熙選手が3位入賞の結果を残して、それぞれイン



能登高校にある専用練習場で、真剣な表情を見せる選手たち。



(左から) 2年生の谷内桜花さん、尾形結熙さん、中村皓祐さん、3年生の堀内笙太さん、屋鋪真吾さん

ターハイへの切符を手に入れました。この大会に続いて6月19日から21日にかけて行われた、北信越高校体育大会でも団体で男子が優勝、女子が3位、個人で尾形選手が3位入賞を果たしています。

女子個人で優勝した谷内選手がアーチェリー部入部を決めたのは、中学3年の夏休み。部活動体験で楽しさを感じました。中学校では文化部だった谷内さんは「うまくいかないときは、しんどいと思うこともあります。団体戦でみんなが声を出してやるところが楽しい」と、充実した毎日を話します。

好成績に勢いづく部員たち。インターハイの前に「チームはベスト8に入る力を持っています。まずは、予選通過を」と、深見宣夫監督の指導にも熱が入ります。

インターハイに出場する選手たちの目標は、「優勝」。陽が落ちるまでアーチェリーに没頭しています。

5人が挑むインターハイは、8月6日から8月9日にかけて、奈良県立橿原公苑陸上競技場で開催されます。